



新春、玉川太福が
アールに福を呼ぶ。
「かに寄席初席」

COVER Artist Interview

玉川太福

Daifuku TAMAGAWA

浪曲師

1979年生まれ。新潟県新潟市出身。2007年3月、二代目玉川福太郎に入門。2013年10月、木馬亭にて名披露目興行。年間50公演を超える独演会に加え、近年では新宿末廣亭など落語の定席にも出演。「天保水滸伝」「清水次郎長伝」といった古典演目を継承する一方、新作浪曲にも積極的に取り組み、自作の「地べたの二人」シリーズの他、映画「男はつらいよ」浪曲化、異ジャンルとの共演など、幅広く活動を展開している。

玉川太福 <浪曲師>



新春を祝う「かに寄席初席」に 浪曲シーンの次世代を担う 人気者が再び登場！

新年恒例「かに寄席初席」。今年は浪曲人気「復活」の旗頭として熱い視線を集める玉川太福が5年振りに登場。東京落語の看板、「爆笑王」の柳家権太楼を筆頭に、当代随一の聴かせる「噺家柳家三三三」、唯一無二の新作の鬼才瀧川鯉八ら豪華な面々と、おめでたい初笑いをお届けします。

昨年、浪曲師として60余年ぶりに新宿・末廣亭で主任（トリ）を務められたのに続いて、今年も池袋演芸場で同じ大役を任せられました。明治・大正・昭和と、かつては「娯楽の王者」と言われていた浪曲に最近また注目が集まってきた感じがしますが、まさにそのキーマンとなる存在です！

キーマンという意味では、「絶滅危惧種」であつた講談の救世主となつた神田伯山先生のような、芸はもとより人間性やキャラクターも広く大衆に魅力が伝わって、その人を通して講談自体の人氣も広がるような存在はありがたいですね。浪曲も演芸の中ではかなり地位が上がってきているとは思いますが、昔のようなエンタメの中心だった時代にはほど遠い。…というか、テレビもラジオも

もヒット曲もそうですが、今や老若男女がひとつのものを楽しむ世の中ではないので、全世代に届くのは難しいとしても、今まで全く浪曲を知らなかった人や興味のなかった人にも楽しんでもらえるものを提供できるように、それを目指して頑張りたいです。

初心者でも楽しめる「渋谷らくご」のステージや創作話芸ユニット「ソーゾーシー」での活動は、浪曲の間口を広げるのに二役買っていますね。

それは可見市もそうですが、寄席の中に落語だけでなく浪曲も一本入れていただけたのが何よりもありがたいです。今回も何で自分にまたお呼びがかかったのか、その意味をちゃんと理解してご期待に応えて、会全体を大いに盛り上げたいと思っています。

前回ご出演いただいたのは、エンタメ界がコロナ禍の影響で揺れる中、大規模改修を経てリニューアルオープンしたアキラで最初の主催公演となつた、2021年の「かに寄席初席」でした。あの時も柳家花緑師匠や三遊亭兼好師匠ら実力派が揃いましたが、今回もそれに負けない豪華な顔ぶれが集結します。

柳家権太楼師匠については、師匠の弟子で、私がいちばん最初に懇意にしていた柳家三三三師匠は、私が浪曲師になる前から追っかけていた柳家小三治師匠の血をいちはん色濃く受け継ぎながらも独自の色に染め上げておられる。古典も最高ですが、動物園が舞台の「任侠流れの豚次伝」のような新作をやられても評価されるし、とにかく巧くて「聴かせる」ので心から尊敬しています。

瀧川鯉八師匠とは同じ「ソーゾーシー」のメンバーですが、とにかく新作しかやらないといういばら道をあえて貫いているのが素晴らしい。絶対受ける古典の鉄板ネタをひとつ持っていたら強みになるのに、常に新作で勝負するって並大抵じゃない。しかもただの新作じゃなくて、それこそ「鯉八以前」「鯉八以後」と謳われるくらい唯一無二の世界観を持っている。私にはまだまだ周りの評価が足りてないのではとさえ思います。

情緒豊かな語り、心に響く三味線の音

はる 可児常磐津教室 巴瑠の会 第十二回 おさらい会

日時 2/7(土) 13:00

常磐津は歌舞伎の伴奏音楽として江戸時代に流行し、現代まで語り継がれています。巴瑠の会生徒による素浄瑠璃と講師やゲストによる演奏をお楽しみください。

出演：可児常磐津教室 巴瑠の会 指導：巴瑠幸太夫

会場 小劇場 料金 入場無料 主催：可児常磐津教室 巴瑠の会





新作志望でしたが、最初の2〜3年はひたすら古典だけを練習しました。そのうちに肌感覚で「関東節」の浪曲の流れというか、ここの感情が高まってひとつ節入るとか、ここで唸るべき、唸らないべきとかが、何となく掴めるようになっていきました。それを踏まえて

浪曲は、メロディのある「節」と台詞である「啖阿」、そして説明的な「語り」で構成された「音楽芝居」だと勝手に思っているのですが、その絶妙なバランスとタイミングはどうやって決めるのですか？

嬉しいです！CDやYouTubeでも楽しめるけれど浪曲は迫力のある芸ですから臨場感が大切。私のやっている、会社の上司と部下の何気ない日常を題材にした『地べたの二人シリーズ』の「おかず交換」のような新作は、内容的にはバカバカしいかもしれないけれど、声の唸り方や三味線の演奏は古典の魅力そのままなので、ぜひ空気を震わせる生の音を会場で感じていただきたいです。

可児市の皆さんは「演芸通」の方も多く、浪曲を楽しみにされているそうです。前回の反応はかなり好評だったそうですね。

新作に取り組んだので、話の内容は荒唐無稽でも古典で学んだことが下地にあるんです。だから昔からのお客さんにも楽しんでいただけるのだと思います。

近年、太福師匠の「節」というか声比以前に比べてさらに豊かになってきたというか、聴いていて凄く心地いいと感じます。

ありがとうございます！もともと民謡をやっていたわけでもなく、音楽の素養も一切ないところから始めた道ですが、鍛錬を積み上げて時間を経ないとできない声と「節」があると信じています。かつてうちの師匠である玉川福太郎の声と「節」に引き込まれて、何なんだろうこの高揚感と言葉に尽くせない魅力の正体は？ってショックを受け、その謎の答えが知りたくて入門したようなものなんです。自分はまだまだその半分のレベルにも達していないと思うので、まだまだ頑張らないといけないです。

それにしても、いつも傍らで三味線を弾かれています（※亡き福太郎師匠の妻で、玉川一門を支える「おかみさん」でもある）曲師の玉川みね子師匠もタダモノではないですね。

映画でいうところの音楽監督というかそれ以上。舞台の上で私を自由に安心して唸らせてくださる存在で、一撥一擧の響きに重みと説得力がある。打ち合わせとか殆どしないのに以心伝心なんです。そんな我々の掛け合いにも注目して、楽しんでみてください。

取材／東端哲也 撮影／中野建太 協力／フリーパーパームEG

こいつあ春から縁起がいいねえ
新年門出を彩る初笑い！

瀧川鯉八 玉川太福 柳家権太楼 柳家三三

かに寄席 初席

かに寄席 初席

日時 1/17(土) 14:00開演

こいつあ春から縁起がいいねえ、新年門出を彩る初笑い！
初笑いに相応しい実力派がそろい踏み。落語と浪曲、新年に華を添えるおめでたい豪華顔付けです。

【出演】

柳家権太楼、柳家三三、瀧川鯉八、玉川太福(浪曲)

会場 主劇場

料金 全席指定 4,000円 25才以下 2,000円

発売中 害 託児申し込み【受付終了】

★特典として、着物でご来場の方には、銭洗稲荷神社で洗った5円玉を大入り袋に入れて進呈。

★大好評、限定デザインの「かに寄席」オリジナル手ぬぐいを販売！

音楽の都ウィーンで生まれた名曲たちの調べ

斎藤龍ピアノ・リサイタル ～楽都ウィーンの作曲家たち～

日時 2/14(土) 14:00

アーラの数々のプロジェクトに参加し、すっかりお馴染みとなったピアニスト斎藤龍が名曲の数々で音楽の都ウィーンへと誘う。

【プログラム】
モーツァルト／
ピアノ・ソナタ第11番「トルコ行進曲付き」
ベートーヴェン／
ピアノ・ソナタ第17番「テンペスト」ほか

会場 小劇場

料金 全席指定 2,000円

25才以下 1,000円 発売中 害



主催:RS MUSIK

歌舞伎の音楽、常磐津に注目!

歌舞伎とおしゃべりの会 2月の会 歌舞伎を聴く～常磐津の魅力～

日時 2/21(土) 13:30

歌舞伎や舞踊の音楽として演奏されている常磐津を舞台で活躍するゲストによるお話と演奏で贅沢に学びます。

ご案内役は古典芸能解説の第一人者、葛西聖司さん。

楽しい解説で、これから歌舞伎入門という方にもオススメです。

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円

発売中



ゲスト:常磐津巴瑠幸太夫



講師:葛西聖司

色あせはしない、あのまぶしい夏。さあ、僕らの旅が始まる!

市民ミュージカル「君といた夏」

日時 ①2/28(土) 18:30 ②3/1(日) 14:00

100人の市民でつくる可児オリジナルミュージカル。

舞台は昭和49年の可児。

それぞれに悩みを抱えた少年たちの小学校最後の夏休みの冒険物語。仲間といくと、喜びは大きくなり悲しみは小さくなった。

これは誰もが経験する出会いと別れ、家族と友情の物語。

会場 主劇場

料金 全席指定 2,000円

※4才から入場可

発売日 1/10(土) 託児申し込み 2/14(土)まで
※3/1(日)公演のみ



被災地の心の復興を祈る、可児からのエール

東日本大震災復興支援／能登半島被災者支援 祈りのコンサート2026

日時 3/8(日) 14:00

被災者の長らく困難な復興のために、今年度もコンサートを開催します。公演の収益と、お客様からいただいた支援金は、被災者の心の復興のために現地で活動している被災者支援団体に寄託します。

【出演】熊田祥子(ソプラノ)
高野麗音(ハープ)

会場 主劇場

料金 全席指定 1,000円

※4才から入場可

発売日 1/10(土) 託児申し込み 2/22(日)まで



豪華ゲストによる、爆笑トークと絶品話芸

古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会

日時 3/14(土) 14:00

毎年恒例「風間杜夫の名人会」。落語界随一の大型ゲストが登場! 元力士という異色の経歴を持つ、岐阜県出身の噺家・三遊亭歌武蔵師匠! 巨匠から繰り出される話芸の数々は、まさに一撃必笑。今年度、注目の大一番です!

会場 小劇場

料金 全席指定 3,500円

25才以下 1,750円

発売日 1/10(土) 害
託児申し込み 2/28(土)まで



風間杜夫



ゲスト:三遊亭歌武蔵

アーラ・キネマ倶楽部 3月 『本日公休』

上映時間106分
2023年/台湾

常連客にハサミの音を響かせる、一人の理髪師の日常

日時 3/15(日)・3/16(月) 各日10:00 / 13:30

台中にある昔ながらの理髪店。女手ひとつで育て上げた3人の子供たちも既に独立し、店主のアーレイさんは今日も一人店に立ち、常連客を相手にハサミの音を響かせます。ある日、離れた町から通ってくれていた常連客の“先生”が病の床に伏したことを知ったアーレイさんは、店に「本日公休」の札を掲げて、最後の散髪のためにその町に向かうのですが…。

会場 映像シアター 発売日 1/17(土)

料金 全席指定 1,000円

25才以下 500円



© 2023 Bale Film Co., Ltd. ASOBI Production Co., Ltd.
All Rights Reserved



令和7年度 優秀映画鑑賞推進事業

35mmフィルムで味わう名作映画鑑賞会

年齢を問わず
人生の様々なステージで、
“熱中する人々”への人生讃歌。

日時 1/25 (日) ・ 1/26 (月)

会場 映像シアター

料金 全席指定 500円 発売中

	1/25 (日)	1/26 (月)
10:00	『がんばっていきまっしょい』	『Shall we ダンス?』
13:30	『キツツキと雨』	『死に花』

主催：(公財) 可見市文化芸術振興財団
アール映画部 / 国立映画アーカイブ
特別協力：文化庁
一般社団法人日本映画製作者連盟
全国興行生活衛生同業組合連合会
松竹株式会社 / 東宝株式会社
東映株式会社
株式会社KADOKAWA

『がんばっていきまっしょい』
アール・ビデオ・キネマ・フィルム・コレクション
1998年 / 119分

監督 磯村一路

出演 田中麗奈、清水真実、中嶋朋子 ほか

『キツツキと雨』
「キツツキと雨」製作委員会
2011年 / 128分

監督 沖田修一

出演 役所広司、小栗旬、高良健吾
山崎努 ほか『Shall we ダンス?』
大映・日本テレビ放送網・博報堂
1996年 / 136分

監督 周防正行

出演 役所広司、草刈民代、竹中直人 ほか

『死に花』
「死に花」製作委員会
2004年 / 120分

監督 犬童一心

出演 山崎努、宇津井健、青島幸男、谷啓、
松原智恵子 ほか

0才から鑑賞いただける子ども向けクラシックコンサート

おやこでうたうコンサート

日時 3/22 (日) 11:00

【プログラム】

バナナのおやこ
しあわせなでをたたこう
ほよん行進曲 ほか

【出演】

趙知奈(ソプラノ)
福田紗永(クラリネット)
野口夏菜(ピアノ)

2024年度公演の様子

会場 音楽ロフト

料金 全席自由 800円 中学生以下 500円
※3才未満入場無料

発売日 1/17 (土)

主催：福田音楽事務所

あなたのそばに、本格クラシックコンサート

音楽家の集いvol.86
春うらのコンサート

日時 3/22 (日) 16:00

会場 音楽ロフト

料金 全席自由 800円

発売日 1/17 (土)

主催：福田音楽事務所

【プログラム】

A. シュベート / アルペンリート
A. クック / 3つの無垢な歌
A. ビーチ / 子守唄
P. マスカーニ / アヴェマリア ほか

【出演】

趙知奈(ソプラノ)
福田紗永(クラリネット)
野口夏菜(ピアノ)趙知奈
(ソプラノ)福田紗永
(クラリネット)野口夏菜
(ピアノ)

チケット取扱 / 可見市文化創造センター・インフォメーション

ネットで
予約する

https://www.kpac.or.jp

24時間いつでも予約可能！ネットでのカード決済も可能。
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で！電話で
予約する

TEL. 0574・60・3050

お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で！
9:00～19:00

(火曜休館 / 祝日の場合は開館 翌平日休み)

窓口で
購入する

窓口でご利用可能なカード



- 発売日は窓口・ネットにて販売。電話予約は翌日からとなります。●表記のない公演の開場は開演30分前です。●振込による代金支払いもごさいます。
- 表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。●25才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
- 公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

害↓50%
当日ハーフプライス対象【当日ハーフプライス】
残席がある場合に限り公演日当日、
チケット料金が半額になります。
※インターネットは0時から。
窓口・電話は9時から。

チケットれすQ対象

【チケットれすQ】
インターネットでチケットを予約購入後、お持ちの
スマートフォン等によって QR コードを表示してご
入場いただけます。紙チケット発券が不要なため、
購入から入場までがスムーズに。
※このマークがある公演対象

託児サービス対象

【託児サービス】
公演鑑賞されるお客さまのお子さま
(6カ月～未就学児)をアール館内のキッ
ズルームにてお預かりいたします。
1名 500円
※要事前申込
※このマークがある公演対象

日	曜	開演 予定	終演 予定	催事名	入場	問合せ先
---	---	----------	----------	-----	----	------

主劇場(宇宙のホール)

6	金	12:15	15:15	令和7年度 御嵩町立向陽中学校合唱発表会	関係者のみ	向陽中学校 石原聖也	0574-67-1331
8	日	13:30	15:00	中濃混声合唱団 ～次世代に届け、文化の翼～	指定席 2,500 円 自由席 2,000 円	(公財) 岐阜県 教育文化財団	058-233-8161
11	水・祝	①12:30 ②16:30	①14:30 ②18:30	美濃加茂高等学校 マーチングバンド・バントワリング 23rd Yearly Recital	全席指定 1,500 円	美濃加茂高等学校	0574-26-7182
14	土	9:35	16:00	令和7年度 かわい幼稚園生活発表会	関係者のみ	かわい幼稚園	0574-62-7180
28	土	18:30	20:30 (予定)	市民ミュージカル「君といた夏」	詳細は P4	可児市文化創造センター	0574-60-3311
3/1	日	14:00	16:00 (予定)				

小劇場(虹のホール)

7	土	13:00	16:00	可児常磐津教室 巴瑠の会 第十二回 おさらい会	詳細は P2	可児市文化創造センター	0574-60-3311
14	土	14:00	16:00	斎藤龍ピアノ・リサイタル ～楽都ウィーンの作曲家たち～	詳細は P4	可児市文化創造センター	0574-60-3311
15	日	15:00	17:30	第32回 ピアノコンサート	無料	音の森ピアノ教室 森	090-1740-5586
20	金	13:00	14:45	MINEHAHA CONCERT	全席指定 6,000 円	安藤恵子	090-7951-9084

ギャラリー

18～23	水～月・祝	9:00	22:00	ろくにん会展 初日 13:00 から 最終日 16:00 まで	無料	石原忠昭	0574-62-9077
-------	-------	------	-------	------------------------------------	----	------	--------------

- ・入場者多数の場合、定員以上はご入場いただけません。主催者都合により入場制限をする場合がありますので、整理券等の有無につきましては事前に主催者にご確認ください。
- ・主催者都合により発行後内容が変更になる場合があります。催しの詳細につきましては主催者にお問い合わせください。・劇場につきましては本番ご利用日のみ掲載しております。
- ・駐車場に限りがありますので、公共交通機関の使用等をお願い致します。・12/1 時点での申し込み状況、予定を掲載しています。

どうしようがよかったに

デザイン 映像 イベント

あなたの「やりたい」をまるっとお任せ

可児市で創業20年 /

TOY FARM

TEL 0574-63-9063 制作実例はこちら



FM ららららマガジン

地域密着ラジオとフリーマガジンで
あなたのお店や会社、イベントを
ラジオ+誌面で PR しませんか？

- ✓ 20 秒 CM、ラジオ出演、求人告知
- ✓ 「ららマガジン」掲載

FM **rara** 76.8MHz
KANI, HIROKAWA, MIYAKI

0574-50-2080 info@fm768.jp

[HP]



The Book lounge hotel KANI

岐阜県可児市今渡715 (アークまで徒歩3分)

Tel 080-3505-8437




劇場から地域を元気に 劇場の「えがお」人

アールは、市民が自己実現を叶える場・輝ける場づくりを担い、地域を元気にする「えがおの劇場」を目指しています。そんなアールを素敵な「えがお」で一緒に盛り上げてくださっている人々をご紹介します。



今回の「えがお」人

かとう さき
加藤 早紀さん

(フルート奏者/音楽ワークショップラボ受講者)

音楽を通じて人々を幸せにしたい。人と人をつなぎたい。そんな想いを込めて昨年8月から開講したアールの「音楽ワークショップラボ」。その受講者であり、可児市出身のフルート奏者の加藤早紀さんにお話を伺いました。

普段どのような活動をされているか教えてください。

私は普段、中津川と可児のフルート教室で幼児から70代の方々にレッスンをさせていただいています。また演奏活動やフルートの楽しさを知ってもらうためにテキストの制作販売などもしています。

今回、アールとして初の試みとなる「音楽ワークショップラボ」(以下「ラボ」)を受講されたのは、どのような動機からだったのでしょうか？

演奏家として、もっと引き出しを増やし、幅を広げたいと考えたからです。演奏を「聴くだけ」ではなく、参加者が一緒に音を出して楽しむ体

験型の「音楽ワークショップ」という分野にも興味がありました。

ラボに参加して、どんな学びがありましたか？

2つあります。ワークショップがどんな体験なのか、そのためにどんな準備が必要なのか。コンサートは、演奏家作り上げた世界を、参加者に味わっていただく受動的な体験であるのに対して、ワークショップは、参加者自身が「主体的に動く」ことで成立する能動的な活動です。そのため、戸惑いもありましたが、その違いが理解できたことで準備と実践に取り組んでいくことが出来ました。

市内の地区センターと連携して実施された「まちなか演奏家プロジェクト」では、地域の皆さんと一緒に音楽ワークショップに取り組みました。体を動かしたり、楽器を使って一緒に演奏したりと、参加者の皆さんと「音楽を楽しむひととき」を共有されたと思います。が、実際にやってみていかがでしたか？

いかに事前に実施場所、参加者のリサーチをして準備をしていくかが重要だと気付かされました。同じプログラムを4か所で開催したところ、場所によって変化していききました。これは、お客さんの反応を予測しきれないワークショップだからこそその出来事です。決められた通りではなく、お客さんの声に対応できる多様な引き出しと、プログラムに柔軟性、遊び

(余白)を持たせることが必要だとわかりました。引き出しは現場を積むに従って増えていくものだと思いますし、臨機応変に対応できる柔軟性が求められると思います。

参加された方たちの反応はいかがでしたか？

印象的だったのは、みなさんがとても積極的に参加してくださったことでした。そして「参加型」であることを楽しんでくださったことです。お茶を飲みながら交流をする場だったので、お客さんが気軽に話しかけてくれて、途中でいろいろ質問が飛び交うのもとても新鮮でした。楽器を持って一緒に演奏してもらったことで、お客さんも、この場を自分も一緒に作った感覚になり、「一緒にやれて楽しかった」という声をたくさんいただきました。自分ひとりですべての参加者と向き合うことは難しいですが、アールのスタッフさんや、ラボのメンバーの協力も得て、「みんなで作っていく」場づくりの醍醐味を体験することができました。

最後に、今後の活動についてお聞かせください。

ラボでの活動で多くの「引き出し」を得ることができました。一方で、音楽が社会で担う役割とは何かという「課題」も突き付けられました。今後は、可児市内の施設を活用するなど、仕組みをしっかりと作って、たくさんの方にクラシック音楽体験の場を作れるようにしたいと思っています。

「音楽ワークショップラボ」について

音楽を通じて人をつなぎ、誰もが楽しめる場をつくりたい——そんな思いから2025年度にスタートした「音楽ワークショップラボ」。演奏家がファシリテーターらとチームを組み、学びと地域での実践を重ねる中で、7か所・約250名に音楽の楽しさを届けてきました。参加者同士の交流を生み、演奏家にとっても表現を広げる貴重な機会となっています。今後も地域に音楽が寄り添う場づくりを目指し、活動を続けていきます。



インタビュアー
松浦正和
(アールスタッフ)





いっしょに「みる」って、なんだろう？ アフタフ・バーバン『ぐうちよっぱ劇場』



「観劇する」「お芝居を観る」「舞台を鑑賞する」——どれも同じコトを指していますが、どういう光景が頭に浮かびますか？舞台があって、客席があって、客席に座って舞台を観る。そんな感じでしょうか？でも、昨年11月1日にアールで行われた『ぐうちよっぱ劇場』に来た子どもたちは、自分たちの観劇体験について、きつこう答えるでしょう。

「ぼくたちでね、あおむしくんを助けてあげたんだよ」
「悪いやつが来たから、みんなで追いつけたんだ」
「あおむしくん、りんごをあげたよ」
「あおむしくんは何でも食べて、どんどん大きくなって、さいごは……」

…何と言うか、「観た」というより「参加した」、「一緒に物語を進めた」という感覚の言葉ですね。でもこれも演劇公演で、鑑賞なんです。ただし、参加型の演劇公演です。一口に「参加型」と言っても、内容は千差万別です。

『ぐうちよっぱ劇場』は、要所要所で観劇している子ども達に助けを求め、考えてもらって、話を展開させていきます。のってくと、子ども達は実に色々なアイデアを出してくれるので、それに応える演者さん達も大変ですが、そこが腕の見せ所。全部拾って上手にのせて、だんだんみんなで協力して行動を起こすように導いていきます。

出演者「アフタフ・バーバン」の3人は、幼稚園の先生たちが驚くほどの巧みさと熱量で子ども達とやり取りをし、みんなのやる気と想像力を膨らませながら、お話を盛り上げていきます（注：アール以外に、市内の幼稚園でも公演を行いました）。

客席には大人たちの姿もありますが、子どもと一緒にワイワイ楽しむ方もいれば、一緒にお話を観ながら、アクティブに楽しむが子様子を見て楽しんでおられる方もいます。保護者の方たちからは、「見たことない表情をした」「こんなに積極的になることがあるなんて」といった感想もいただきました。

「芸術鑑賞」と言うと、「静かにしなさい」とか「ちゃんと観てなさい」とか、楽しむよりも注意にばかり気がいってしまう、なんてことも聞きますが、そういうことは、ここでは全然ありません。基本的に自由。迷惑になりそうなのがあれば、演者も観客の子たちも、声をかけあって直していきます。客席も含めた全体を、みんなで作っていく感じなので、安心して楽しめます。

単純に「観る」「聴く」だけではないので、私たちは「演劇体験」という言葉を使っていますが、広い意味では「演劇鑑賞」になります。未就学、低学年の子ども達だと、やっぱりただ黙って他人がやる事を見聞きするだけよりも、自分も一緒にやる方が、圧倒的に身に入りますよね。年齢や、その人ごとに合った「観る」やり方、色々あるのだと思います。想像力を広げる選択肢が、これからもっと増えていけば良いなと感じています。

（創造事業課 中尾）

珠玉の言葉たちが「母」の記憶の風景を照らす

市毛良枝の音楽と語りのひととき 「母へのまなざし」

日時 1/31(土) 14:00

会場 小劇場

料金 全席指定 2,500円
25才以下 1,250円

発売中 券



市毛良枝の深いまなざしと優しい声、ギタリスト望月雄史の繊細な音色が響き合う朗読公演。谷川俊太郎や茨木のり子らの詩や母への手紙、子どもたちの言葉など、母への想いが静かに、力強く心に届きます。音と言葉が織りなす「母」の記憶の風景に、ぜひ触れてください。忘れかけた大切な何か、きっと見つかるはずです。



望月雄史(ギタリスト)



市毛良枝



TEL 0574-63-5223

営業時間 9:00~20:00

アール主催・共催公演チケット提示で、公演日から1カ月間、飲食代が10%OFF（一部対象外公演あり）
※お一人様チケット1枚につき1回限り有効

可児市文化創造センター ala

休館日 1月は6、13、20、27日
2月は3、10、17、24日

【年末年始休館】
12月28日～1月4日

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
https://www.kpac.or.jp

開館時間／9:00～22:30（火曜休館／祝日の場合は開館 翌平日休み）
TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312 ㊚ala_info.01@kpac.or.jp

アール facebook

アール X

アール Instagram

